

“Learning+1”の履修について

(平成27年度)

“Challenge・Change・Contribute：意欲的に挑戦し (Challenge),
自らの可能性を拓げ (Change), 広く社会の発展に貢献 (Contribute)
することを期待しています”

“Learning+1” (ラーニングプラスワン)とは

現代の多様に複雑化する諸課題に対する理解を深め解決に向けて行動するためには、複眼的な知識や視点を身に付けることが大切になってきています。そこで、学生の皆さんが所属するそれぞれの学部において学ぶ専門教育だけでなく、更に多様な他の領域の知識や能力を身に付けることができる“Learning+1”を開講しています。自主的かつ意欲的に学ぶ領域を拓げ深めることによって、「人間力」を高め将来の可能性を広げることをサポートします。

平成25年度から、“Learning+1”のプログラムとして、「グローバル人材育成プログラム」を、平成27年度から、「高齢者共生社会プログラム」を新規開講しました。必要な修了要件を満たした時に“Learning+1”の修了証書を授与します。

2. 「高齢者共生社会プログラム」

日本における超高齢社会の課題に対応するため、高齢者共生社会の構築に向けた専門知識と実践力を身に付けることができます。

「とちぎ終章学特講」や「終章を支える社会資源」など社会人と共に学ぶ科目もあり、異世代間で意見交換することにより、世代ごとの価値観を知ることができ、幅広い視点に立つてものごとを考える力が醸成されます。

○ 対象学生

学部生（履修登録は3年次まで）を対象とします。

○ 履修の届出

履修を希望する場合には、修学支援課または工学部学生係窓口で配布する「高齢者共生社会プログラム履修申請書」を3年次の4月末までに、修学支援課または工学部学生係に提出してください。

○ 修了要件

- 1) 区分毎に指定された授業科目から、必要単位以上を履修し、合計24単位以上を修得しなければなりません。
- 2) 修了した者には、卒業時に「高齢者共生社会プログラム修了証書」を発行しますので、修学支援課または工学部学生係に申し出てください。

○ 履修科目：別表2のとおり

- 1) 本プログラムは、高齢者共生社会の構築に対応するために必要とされる能力として、「とちぎ終章学関連」、「高齢者共生社会リテラシー」、「まちづくり・コミュニティデザイン関連」、「医療福祉・高齢者支援の工学関連」、「食農・健康関連、福祉・癒し農業関連」の科目群で構成されています。

- 2) 本プログラムの授業科目は、基盤教育科目を中心にして、各学部専門教育科目の一部を加えることで編成されています。
- 3) 授業科目によっては開講年度が異なりますので、当該年度の授業時間表またはシラバスで確認してください。
- 4) 集中講義については、掲示等で案内しますが、質問等がありましたら修学支援課または工学部学生係にお問い合わせください。

○ **履修にあたっての注意事項**

「高齢者共生社会プログラム修了申請書」を卒業年度の11月末までに、修学支援課または工学部学生係まで提出してください。

○ **その他**

本プログラムは、法令等で定められた資格ではありません。本学が定めたプログラムを修了した者に対し、卒業時に修了証書を授与する“Learning+1”です。

別表2

高齢者共生社会プログラム履修科目

区分	授業科目名	授業方法	単位	履修単位数	科目分類
とちぎ終章学関連科目	とちぎ終章学総論	講義	1	1	
	とちぎ終章学特講	講義	1	1	
	終章を支える社会資源	講義	2	2	
	とちぎ終章学演習Ⅰ	演習	2	10単位以上	
	とちぎ終章学演習Ⅱ	演習	2		
高齢者共生社会リテラシー科目	生涯学習概論(※1)	講義	2	10単位以上	基盤教育科目
	より良く生きる	講義	2		
	心理学と人権	講義	2		
	認知心理学入門	講義	2		
	生活美学	演習	2		
	障害者問題入門	講義	2		国際学部専門教育科目
	現代福祉事情(※2)	講義	2		
	余暇政策学	講義	2		
	現代福祉事情	講義	2		
	対人コミュニケーション論	講義	2		
	生涯学習社会論	講義	2		教育学部専門教育科目
	発達心理学	講義	2		
	臨床心理学	講義	2		
	住生活論	講義	2		
	食生活論	講義	2		
	家庭経営論	演習	2		
	生活アメニティ論	講義	2		
生活福祉論	講義	2	国際・教育学部専門教育科目		
社会福祉援助技術論	講義	2			
社会福祉学概論	講義	2			
まちづくり・コミュニティデザイン関連科目	希望の地域社会論	講義	2	8単位以上	基盤教育科目
	住まいづくり・まちづくり入門	講義	2		
	実践・宇都宮のまちづくり	講義	2		
	里山のサスティナビリティを考える	講義	2		国際学部専門教育科目
	地方自治論	講義	2		
	地域居住論	講義	2		教育学部専門教育科目
	地域福祉論	講義	2		
	社会教育計画Ⅱ	講義	2		工学部専門教育科目
	建築計画学Ⅰ	講義	2		
	建築計画学Ⅱ	講義	2		
	建築計画学Ⅳ	講義	2		
	土木計画学Ⅰ	講義	2		
	田園生態工学	講義	2		農学部専門教育科目
	農村計画論	講義	2		
	地域分析基礎論	講義	2		国際・教育学部専門教育科目
都市計画	講義	2			

連 者 医 療 福 祉 支 援 の 工 学 関 連 科 目	ものづくり体験	講義	2	2 単位以上	基盤教育科目
	危機を見つめる力	講義	2		工学部専門教育科目
	情報と倫理 (※3)	講義	2		基盤教育科目
人間生活と植物	講義	2			
肥満の科学	講義	2			
健康管理学概論	講義	2			
目	フードシステム論	講義	2	農学部専門教育科目	
合計			2 4 単位		

- ※1 教育学部学生は専門導入科目として、それ以外の学生は教養科目として履修してください。
- ※2 教育学部専門導入科目であり他学部学生が履修しても卒業単位にはなりません。
- ※3 情報工学科以外の学生の受講は、端末数の関係から数名に限ります。
- ※4 学部専門教育科目は、他学部学生が履修しても卒業単位にはなりません。
- ※5 本プログラムの授業科目の詳細については、基盤教育と各学部の履修案内やシラバスで確認してください。